

はあと ねつと

Heart Net

岩見沢市立総合病院
広報誌 2018年8月発行

Vol.
9

特 集

看護外来の活動

TAKE
FREE

ご自由にお持ち帰り
ください



撮影：野々下優子さん

- ご挨拶
- 職場紹介：救急外来
- リポート：抗菌薬適正使用支援チーム
- 特集：看護外来の活動
「助産師外来(チャオ♡ママ)」
「ストーマ外来」「フットケア外来」
- 健康レシピ さつまいもとリンゴのひとくちデザート
- 病院からのお知らせ など

岩見沢市立総合病院ホームページ
<http://www.iwamizawa-hospital.jp>

ご挨拶

「やさしい看護」の実践へ

看護部長 中野和美



こんにちは。看護部長の中野と申します。

緑の豊かな季節となりました。私は、休日にはバラ園やあやめ公園を愛犬と散歩しています。道行く人と挨拶を交わし、時におしゃべりに興じることもあり、楽しい時を味わっています。

さて、当院看護部は、「地域の皆様に信頼される、やさしい看護の実践」という理念を掲げ、看護サービスに取り組んでいます。看護師として、心と身体にやさしいケアが何より大切だと実感しているからです。

この理念の実現に向けて、段階別看護実践能力を6つの力で示す「看護師のクリニカルラダー」を用い、新人・中堅・ベテラン看護師それぞれが個人の能力の向上をはかり、チーム力を高める体制づくりを行っています。

また、今年は26名の新人看護師が仲間になりました。新人看護師には、はあとサポーターという先輩看護師が応援団として支えています。

さらに、ワークライフバランスの視点で、働き続けられる職場を目標に勤務時間管理や良い人間関係づくりに重点を置いています。

日々発展する医療と看護師に求められる役割の拡大で「やさしい看護」を行うための道のりは簡単ではありませんが、看護職員一同協働し「患者さんにより良い看護を行いたい！」という思いで頑張っています。

今後も地域の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



新任のご挨拶

薬剤長 小嶋啓修



今年の4月に岩見沢市立総合病院の薬剤長に任命された小嶋です。

何分初めてのことばかりで戸惑うことばかりですがスタッフに助けられる毎日です。

当院はこの4月からDPC（包括医療費支払制度方式）病院になり、入院費を厚生労働省の定めた1日当たりの医療費である「包括評価部分」と今まで通りの「出来高評価部分」とを組み合わせで計算します。薬は「包括評価部分」に含まれ、薬をたくさん処方しても1日当たりの医療費は変わりません。そして、今まで採用していた薬の多くをジェネリック医薬品に変える必要があり、その選定に追われています。その他、患者様からの訴え、薬に関する問い合わせに対応したり、他部門からの要望や現場からの声にも応えなくてはならない等、責任の重さを痛感しているところです。

今後、患者様が治療に安心して取り組むことができるように正確な調剤と分かりやすい服薬指導を充実させていきたいと思えます。

皆様の要望にうまく対応できるよう精一杯務めていきたいと思えますのでよろしくお願いいたします。

新任のご挨拶

臨床工学科技師長 坂本哲哉



平成30年4月に岩見沢市立総合病院臨床工学科技師長を拝命致しました坂本 哲哉です。

我々臨床工学技士は医療機器専門職として血液浄化や手術・心臓カテーテル補助や高気圧酸素療法などの機器の保守・点検・操作に従事しております。血液透析療法では約200名の患者様に、医師・看護師と共に安全に透析治療を受けていただけますよう努めています。

病院内を航空業界に例えますと、事務職が受付カウンター（受付・会計・管理）、医師が操縦士（診療）、看護師は客室乗務員（看護）であり、我々医療技術職は機体（医療機器）の検査や整備・故障対応などの役割に当たると考えます。

飛行機は安全にそして快適に目的地へ到着するために沢山のクルーが関わりますが、市立病院でも市民の皆様が安心して病院を受診され、検査や治療が安全に行えますよう、医療チームが一丸となり臨床工学科13名の仲間と共に質の高い医療を提供できる様努力をしています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

職場紹介

当院の救急体制



救急外来

外来看護主任
瀬戸 美千代

- 一次救急とは...** 入院の必要がなく、帰宅可能な軽症患者さまに対して行う救急医療
- 二次救急とは...** 緊急を要する患者さま、重篤な患者さま、入院を要する患者さまに対して行う救急医療
- 三次救急とは...** 生命に危険が及ぶような重症・重篤患者さまへの対応を行う救急医療

当院では、岩見沢地域の二次救急患者を受け入れており、主に救急隊による搬送又は夜間急病センターや当番病院の医師からの紹介により受け入れを行っています。岩見沢地域における時間外の二次救急患者の受け入れは、緊急を要する患者さま、重篤な患者さまの診療を優先して行っています。

救急外来は、平日の日中に一般外来で勤務している医師と看護師（2交代制）が担当し、専門的な知識や技術を高めながら治療と看護に当たっています。育児休業明けの看護師も多く在籍しており、より良いワークライフバランスを目指して、看護を実践しています。



夜間急病センター・当番医

岩見沢市夜間急病センター（10西3） ☎25局3000
診療時間 午後6時～午前0時（土・日曜日、祝日を問わず）
診療科目 内科・小児科（その他の科目はご相談ください）
救急病当番医 広報に折り込みの「いきいきカレンダー」参照

おさえておこう

- 応急処置程度の医療行為しが行えない
- 改めて日中の診療時間内に受診が必要な場合がある
- 通常の料金に規定の割増料金が加算される



北海道小児救急電話相談

小児救急に関するさまざまな相談を受け付けています。
相談時間 午後7時～午前8時（土・日曜日、祝日を問わず）
 #8000 または ☎011-232-1599

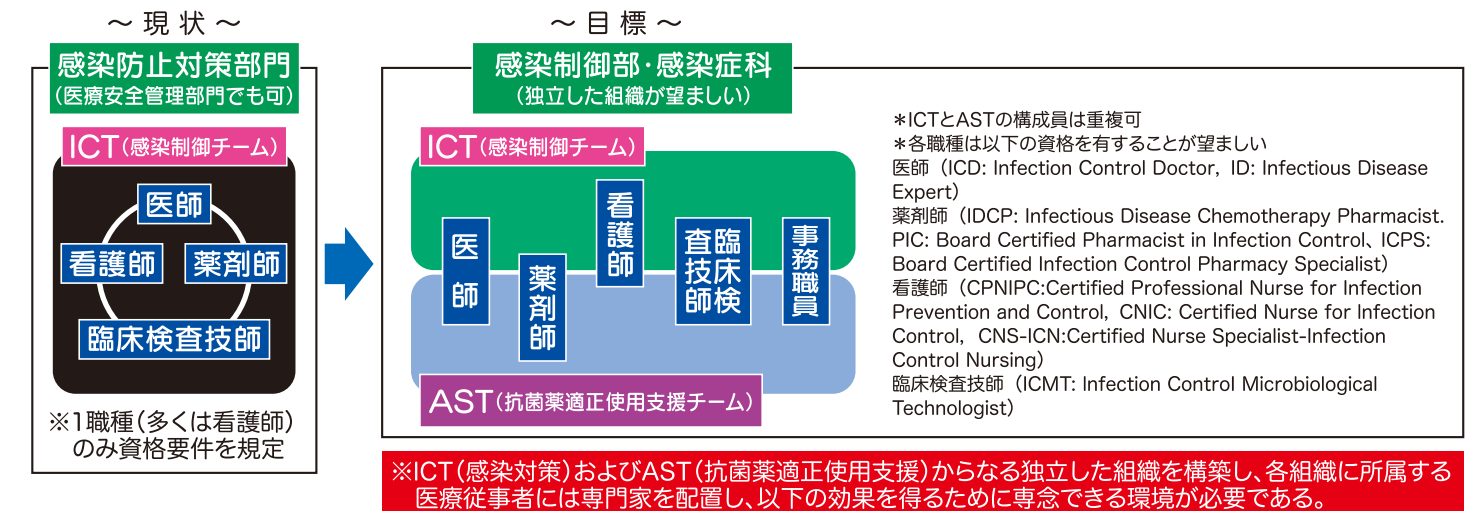
レポート

抗菌薬適正使用支援チーム (AST)

感染防止対策室 室長 佐藤 俊哉

感染防止対策室では従来からの感染制御チーム (ICT) に加えて、平成30年4月よりASTが稼働しました。ICTでは耐性菌の調査、感染対策講習会、環境対策を行い、ASTでは抗菌薬使用の主治医支援、抗菌薬届出、アウトブレイク介入を行っております。

1) 耐性菌対策推進のためにあるべき感染症管理体制整備の必要性



2) 感染症管理体制整備によって期待される効果

【国民への教育や啓発】 学校や自治体等と連携し、市民全体への啓発 → 抗菌薬濫用の防止	【サーベイランス】 感染症発生率、耐性菌出現率、抗菌薬使用量の把握 → 耐性菌化や抗菌薬曝露状況の把握
【感染症診療の向上】 感染症患者に対する抗菌薬の適正使用支援 → 予後の改善、耐性菌患者の減少、医療費の削減	【地域での感染対策】 医療機関だけでなく、介護施設や保健所等とも連携強化 → 耐性菌の地域内拡散の防止



院内感染対策のさらなる充実に励んでおります。どうぞよろしくお願いいたします。

「チャオ♡ママ」へようこそ

4階西病棟 看護師長 中島 由香里 (助産師)

「チャオ♡ママ」は4階西病棟助産師による「助産師外来」のことです。当病棟助産師9名により妊婦さんへの保健指導をさせていただきます。月火金曜日の10:00～11:00の1人30分(無料)で、妊婦健診を受診した時に予約制で同時に受けることができます。妊娠34週以降が対象となっています。

「チャオ♡ママ」では出産の際にどのようなにしたいのか、たとえば「夫に立ち会ってほしい」「リラックスしたい」「すぐ赤ちゃんを抱かせてほしい」などバースプランというものを確認したり、「赤ちゃんをおっぱいで育てたい。」というような要望にお応えして、妊娠期からの乳房の手当と母乳栄養についてのお話などさせていただきます。担当する助産師は5名がアドバンス助産師という資格をもち、より妊婦さんへ専門性の高い知識、技術を提供しています。



また、産後に育児や授乳に不安のある方へ「産後2週間検診」(有料)で行っています。これは出産後退院までに予約を入れて受診となります。

当病棟の助産師は地域でも活動しており、市内の小・中・高校へ「命の授業」を実施したり、保健師と連携して母子への継続的な支援を提供しています。今後「チャオ♡ママ」は育児に悩むお母さんや、初めておじいちゃん・おばあちゃんになる方・思春期の小・中・高校生への健康指導など「助産師の外来」へと発展させ、女性のライフサイクルの支援に取り組んでいきます。

ストーマ外来の紹介

3階東病棟 看護主任 皮膚・排泄ケア認定看護師 小原 菜穂

ストーマとは、様々な病気や障害によって腹壁に造られた排泄口(消化管ストーマまたは尿路ストーマ)のことです。

ストーマは手術後、大きさが安定するまで数か月かかります。また、退院後、体型の変化によってストーマ装具が合わなくなったり、ライフスタイルの変化によってケア方法を変更する必要がある場合があります。ストーマ外来では、オストメイト(ストーマを保有されている方)がより快適な生活が送れるよう、通常の外来診察室とは別に個室を設けて、ストーマケアやストーマに関する専門的な相談に応じています。

フットケアという名称は、以前はエステサロンなどで多く使われていましたが、現在は医療界でも使われるようになってきました。糖尿病患者さんの増加や人口の高齢化に伴い、足の健康を保持する必要性が高まっており、足を生涯守るためには、いわゆるフットケアで足病変の予防が重要となっています。

当院で行っているフットケア外来は、糖尿病で足にトラブルがある方・今後予測される方を対象に、足病変の悪化や予防についてセルフケア指導を行う外来です。

＜フットケア外来の内容＞

実際に、靴下を脱いで、足をよく観察し、足浴や血流評価、爪切りやうおのめ・たこ削り、スキンケア(保湿)を行います。また、ご自宅で実施できるケアについても専門的知識を用いてアドバイスさせていただきます。わずかな病変を見つけた場合は、皮膚科医師と連携を図り早期に治療することで、重篤な足病変になることを予防することが期待できます。

下肢の切断を回避することは、生命予後も改善すると言われています。人生最後まで、しっかりと自分の足で歩くために、足から全身を診ることが重要です。

糖尿病治療中の方で、このようなことで困っていませんか？

- 足(指も含む)の切断歴がある
- 足の裏にうおのめ・たこがある
- 爪が伸びている
- 爪が厚い、巻き爪で自分では切れない...

など、お困りなことがありましたら、主治医へご相談された上でフットケア外来の受診をおすすめします。

平成30年度よりフットケアチームが発足され、メンバー4人でチーム活動とケアを行っています。



皮膚・排泄ケア認定看護師 北山 美保

当院でストーマ造設された方以外にも、昔ストーマ造設してから誰に相談すればいいかわからず悩んでいた方、他院でストーマ造設された方にも対応しています。

こんなことでお悩みの時に

- 排泄物が頻回に漏れて、定期交換ができていない
- 装具を貼っている皮膚がただれている
- 現在使用している装具が合わない
- ストーマやストーマに関する生活のことで相談したい など

装具を外し、ストーマや周囲皮膚、腹壁の状態の観察、実際のケア方法の確認をし、装具の選択、指導などを行います。



フットケア外来の活動

さつまいもとリンゴのひとくちデザート

りんごの酸味・バナナのとろとろ・さつまいものほくほく・アーモンドの香ばしさをクリープが包みこみました。

栄養科 川尻 有貴子



<材料> 約6個分

- さつまいも……100g
- りんご……50g(1/8個)
- バナナ……1/2本
- クリープ……10g
(スティックタイプ1.5本)
- スライスアーモンド……適量

さつまいもは太すぎず、バナナより一回り太いものをおすすめ。

<作り方>

1. さつまいもは水分がついたままラップをして、レンジで加熱。(竹串がすっと通るまで5~6分まで)串が通ったら、粗熱を取る。
2. さつまいもとバナナは1cm幅の輪切り、りんごは5mmにスライス。
3. さつまいも・クリープ・りんご・クリープ・バナナ・クリープ・スライスアーモンドの順番で重ねる。
4. 180℃のオーブン30分前後焼き、しっとりしてクリープがなじんだら出来上がり。



- さつまいも…ビタミンCや食物繊維を多く含み、加熱してもビタミンCが壊れにくいという特長があります。
- りんご…りんごポリフェノールには、血中のコレステロールを酸化悪玉コレステロール(酸化LDL)に変化するのを抑える働きがあります。
- バナナ…カリウムを多く含んでおり、ナトリウムを排泄する役割があり、高血圧に効果があります。
- アーモンド…ビタミンEが豊富で、強い抗酸化作用を持ち、活性酸素を除去して、体内の酸化を防ぐ効果があります。また、不飽和脂肪酸も含み、コレステロール値の上昇抑制、動脈硬化を予防します。

お気軽にご相談ください

申請
受付中
(内科・消化器科)

特定難病及び 特定疾患更新申請

臨床調査個人票

特設会場にて内科・消化器内科の患者さま
をお受けしております

内科・消化器内科以外の患者さま

は、従来どおり1階文書窓口にてお受けします。

受付

日程 平成30年9月28日(金)までの平日

時間 9時~15時30分

場所 中央待合ホール特設会場

お問い合わせ先 医事課医事情報係
TEL. 0126-22-1650

市民健康センターの 土曜健診の実施

従来、健診は平日のみの実施でしたが、4月からは毎月第3土曜日に健康診断を実施しています。

【対象健診】

事業所健診、生活習慣病予防健診

【検査内容】

身体計測、腹囲測定、視力測定、聴力検査、血圧測定、心電図検査、胃部X線検査、胸部X線検査、尿検査、便検査、貧血検査、肝機能検査、血中脂質検査、空腹時血糖検査

お問い合わせ先 市民健康センター
TEL. 0126-32-0888

編集後記

はあとねっと第9号をお届けします。

夏真っ盛り! レジャーシーズンを迎えています。暑い中、熱中症対策も万全にお過ごしでしょうか。

病院内では新年度から、より専門性の高い良質な医療の提供や医療機能をも高めるためDPC対象病院へ移行いたしました。また最新のMRI導入に向け、準備を進めているところです。

今後も「はあとねっと」を通じて地域の皆さまに新しい取り組みや診療に関する情報をお届けしていきたいと思ひます。

鈴木 章彦

はあとねっと 第9号

2018年8月発行

岩見沢市立総合病院広報委員会

委員長 鈴木 章彦 (副院長)

事務局 地域医療連携室